

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 22 年 5 月 27 日 (2010.5.27)

【公開番号】特開 2009-165118 (P2009-165118A)  
 【公開日】平成 21 年 7 月 23 日 (2009.7.23)  
 【年通号数】公開・登録公報 2009-029  
 【出願番号】特願 2008-319484 (P2008-319484)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 1 0 Z

H 0 4 L 12/56 2 0 0 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 22 年 4 月 9 日 (2010.4.9)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ユーザ装置において、ネットワークを介して第 1 のメディア資産を取得する方法において、

該ネットワークを介して、複数のメディア資産に関する情報を有する資産リストを受信し、

前記複数のメディア資産に関する情報を含む前記資産リストをメモリに保存し、

前記第 1 のメディア資産を前記ユーザ装置にネットワークを介して送出するようにリモートサーバに要求を送信するにあたって、前記要求は、前記メモリに保存された前記複数のメディア資産に関する前記情報に応じた、前記資産リストからの前記第 1 のメディア資産の選択に基づき、

前記ユーザ装置によって管理される一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約が満たされることに基づいて、前記第 1 のメディア資産の配信を前記ユーザ装置において定期的に受信し、

リアルタイムバッファリングを必要とせずにユーザ閲覧されるように、継続的且つ途切れない前記第 1 のメディア資産のストリームを生成することを含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記選択は前記ユーザによって行われることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、ネットワーク回線容量利用可能性を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、時間帯を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、保証されたサービス品質を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、ユーザ装置がアイドル状態であることを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 7】**

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、前記ネットワークの動作レベルを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、前記ユーザ装置における前記メモリ使用量のレベルを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 9】**

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、前記ユーザ装置におけるCPU使用量のレベルを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 10】**

ユーザ装置に供給され、複数のメディア資産に関する情報を有する資産リストから選択される第 1 のメディア資産を、ネットワークを介して送出する方法であって、

前記ユーザ装置に前記第 1 のメディア資産を送出するための、前記情報に基づく要求を受信し、

前記ユーザ装置によって管理される一つ又は複数のダウンロードタイミング制約が満たされることに基づいて、前記第 1 のメディア資産を前記ユーザ装置に対して定期的に送出することを含む、

前記ユーザ装置がリアルタイムバッファリングを必要としない継続的且つ途切れのないストリームを生成することで、前記第 1 のメディア資産がユーザに対して可視化されることを特徴とする方法。

**【請求項 11】**

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、ネットワーク回線容量利用可能性を含むことを特徴とする、請求項 10 に記載の方法。

**【請求項 12】**

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、時間帯を含むことを特徴とする、請求項 10 に記載の方法。

**【請求項 13】**

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、保証されたサービス品質を含むことを特徴とする、請求項 10 に記載の方法。

**【請求項 14】**

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、ユーザ装置がアイドル状態であることを含むことを特徴とする、請求項 10 に記載の方法。

**【請求項 15】**

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、前記ネットワークの動作レベルを含むことを特徴とする、請求項 10 に記載の方法。

**【請求項 16】**

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、前記メモリ使用量のレベルを含むことを特徴とする、請求項 10 に記載の方法。

**【請求項 17】**

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、前記ユーザ装置におけるCPU使用量のレベルを含むことを特徴とする、請求項 10 に記載の方法。

**【請求項 18】**

ネットワークを介して第 1 のメディア資産を取得し、前記第 1 のメディア資産をユーザに対して表示するユーザ装置において、該ユーザ装置は、

メモリと、

CPUであって、

前記ネットワークを介して、複数のメディア資産に関する情報を有する資産リストを

受信し、

前記複数のメディア資産に関する情報を有する前記資産リストを前記メモリに保存し

、

前記第１のメディア資産を前記ユーザ装置にネットワークを介して送出するようにリモートサーバに要求を送信するにあたって、前記要求は、前記メモリに保存された前記複数のメディア資産に関する前記情報に応じた、前記資産リストからの前記第１のメディア資産の選択に基づき、

前記ユーザ装置によって管理される一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約が満たされることに基づいて、前記第１のメディア資産の配信を前記ユーザ装置において定期的に受信し、

リアルタイムバッファリングを必要とせずにユーザ閲覧されるように、継続的且つ途切れのない前記第１のメディア資産のストリームを生成する、ように構成されたことを特徴とするCPUと、

を備えることを特徴とするユーザ装置。

【請求項１９】

前記選択は前記ユーザによって行われることを特徴とする、請求項１８に記載のユーザ装置。

【請求項２０】

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、ネットワーク回線容量利用可能性を含むことを特徴とする、請求項１８に記載のユーザ装置。

【請求項２１】

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、時間帯を含むことを特徴とする、請求項１８に記載のユーザ装置。

【請求項２２】

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、保証されたサービス品質を含むことを特徴とする、請求項１８に記載のユーザ装置。

【請求項２３】

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、前記ユーザ装置がアイドル状態であることを含むことを特徴とする、請求項１８に記載のユーザ装置。

【請求項２４】

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、前記ネットワークの動作レベルを含むことを特徴とする、請求項１８に記載のユーザ装置。

【請求項２５】

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、前記メモリ使用量のレベルを含むことを特徴とする、請求項１８に記載のユーザ装置。

【請求項２６】

前記一つ又は複数のダウンロードのタイミング制約は、CPU使用量のレベルを含むことを特徴とする、請求項１８に記載のユーザ装置。